

令和6年度国立高等専門学校機構学生表彰（特別表彰） 受賞者一覧

（1）函館高専 物質環境工学科 5年 岩田 晋作さん

「2024 IWBF 男子 U23 アジアオセアニアチャンピオンシップに U23 日本代表として出場し準優勝」

<事績>

車いすバスケットボール 23 歳以下の国際大会である「2024 IWBF 男子 U23 アジアオセアニアチャンピオンシップ」に日本代表メンバーとして出場し、チームの準優勝に貢献した。本大会には、日本を含むアジアオセアニア諸国 7 国が参加した。当該学生は、計 4 試合でチーム最多得点を獲得し、本大会準優勝の立役者として活躍したことで、大会の優秀選手 5 人のうちの 1 人に選出された。

なお、当該学生の所属する日本代表チームは、今年 6 月にブラジル・サンパウロで開かれる世界大会出場を予定している。

<関連ウェブページ>

[本校学生が車いすバスケットボール国際大会日本代表に選出 - 函館工業高等専門学校](#)

[本校学生が車いすバスケットボール国際大会に U23 日本代表として出場し準優勝しました - 函館工業高等専門学校](#)

（2）東京高専 専攻科 電気電子工学専攻 2年 荒井 俊亮さん

「国際学会（IEEE GCCE 2024） Excellent Poster Awards の Gold Prize 受賞の件」

<事績>

家電技術に関する国際学会「IEEE GCCE 2024」において発表した研究論文（タイトル：Experimental Evaluation of Physical Unclonable Function Extracted from Contact Bounce of Mechanical Relay）が、最高位の Excellent Poster Awards Gold Prize を受賞した。当該研究は、暗号・認証機能（偽造防止や製品の真正性確認）の基盤となる物理的クローン不可関数（Physical Unclonable Function）に関する先進的な研究として国際的にも高く評価され、今後、さまざまなアナログ部品への応用が期待されることとなっている。

なお、当該学生は国内外での研究発表は第 1 著者として 3 本、共著者として 7 本の論文執筆という実績を持つほか、ソニー社との共同研究を通じて得られた知見が産学連携の好例として注目されている。

<関連ウェブページ>

[専攻科 電気電子工学専攻 2 年生が IEEE 主催国際会議にて Excellent Poster Award を受賞しました | 国立東京工業高等専門学校](#)

（3）長野高専 エコノパワー部

「Honda エコマイレージチャレンジ全国大会優勝」

<事績>

1 リットルのガソリンで何 km 走行できるかを競う大会「Honda エコマイレージチャレンジ」に出場し

た。学生から社会人まで全222チームがエントリーする中で、当該学生らは2部門で優勝を果たした。それぞれ、「大学・短大・高専・専門学校クラス」では参加33台中、車両「Reginetta」が1753.044km/lの燃費記録で優勝し、「二輪車クラス」(※Honda4ストローク50ccエンジンを搭載した市販二輪車で参加できるクラス)では参加26台中、車両「BKB」が264.233km/lの燃費記録で優勝した。

また、その他1部門に出場した車両で2位入賞を果たした。

<関連ウェブページ>

[エコノパワー部がHondaエコマイレッジチャレンジ全国大会で2部門優勝](#)

(4) 米子高専 科学部

「Regeneron 国際学生科学技術フェア 2024 物理学・天文学分野優秀賞4等受賞の件」

<事績>

日本の公開天文台の天体観測用分光器保有率が2割弱にとどまるのは分光器が高価かつ自作困難であることが原因であると考え、既製品の1/6の費用で2~3倍の性能を持ち自作が容易な天体観測用分光器を開発した。そこで、本開発技術を国内の科学技術コンテストで発表したところ日本代表に選出され、アメリカのロサンゼルスで開催されたRegeneron 国際学生科学技術フェア (ISEF2024) に参加した。本大会には67の国と地域から1,699名の代表が参加する中で、当該学生らは物理学・天文学分野で優秀賞4等を受賞した。

なお、この成果を受け、文部科学省より文部科学大臣表彰が授与されている。

<関連ウェブページ>

[米子高専科学部、国際学生科学技術フェアの物理学・天文学分野で優秀賞4等受賞 | 独立行政法人国立高等専門学校機構のプレスリリース](#)

(5) 松江高専 MCT レスコンチーム

「レスキューロボットコンテスト 2024 「レスキュー工学大賞」と「ベストパフォーマンス賞」のW受賞」

<事績>

レスキューロボットコンテスト 2024 にて、最高賞である「レスキュー工学大賞」と、総合ポイント1位のチームに授与される「ベストパフォーマンス賞」を同時受賞した。

本コンテストは、災害現場での負傷者の救助を想定した「レスキューロボット」の性能を競うもので、大学チームや社会人有志チームも参加する全国規模の大会である。参加チームが過去最多となる今回の大会で、当該学生チームは予選を1位で通過し、本選においても1位となった。

この他、同大会において「計測自動制御学会特別賞」、「日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰」も受賞した。

<関連ウェブページ>

[レスキューロボットコンテストで得点1位&レスキュー工学大賞受賞 - 松江工業高等専門学校](#)